

奈良市議会

第12回議会報告会

報告書



令和6年11月15日（金）午後6時～8時

奈良市役所 西棟3階 大会議室・第2委員会室

はじめに

奈良市議会では令和6年11月15日に第12回議会報告会を開催いたしました。お忙しい中御参加いただいた皆様、また、開催に当たり御尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。

第12回は、広く市民の方に御参加いただけるよう、対象者を限定せず開催いたしました。

第1部では、6つのグループに分かれ、様々な地域課題について市議会議員を交えて意見交換を行い、課題解決への取組を検討していただきました。

第2部では、第1部でまとめた内容を、各グループの代表者6名に発表していただきました。

I 報告会の概要

- 1, 開催日時 令和6年11月15日(金) 午後6時から8時まで
- 2, 開催場所 奈良市役所 西棟3階 大会議室・第2委員会室
- 3, 参加人数 一般応募26名
- 4, 開催次第
議会報告会(司会:宮池 明広報広聴副委員長)
 - ① 開会のあいさつ 森岡弘之議長
 - ② 議会報告会の趣旨説明 内藤智司広報広聴委員長
 - ③ 第1部 グループワーク
 - ④ 第2部 発表
 - ⑤ 閉会のあいさつ 太田晃司副議長

II 第1部 グループワークの要旨

第1部のグループワークでは、テーマ別にグループに分かれ、議員の進行の下、担当課職員も交え、第2部の発表に向けて各テーマの課題解決への取組を検討していただきました。

グループごとのテーマ

第1～第3グループ：地域防災～助け合い・支え合い～

第4～第6グループ：つながれワッショイ！地域コミュニティは必要？

【第1グループ】

参加者5名、職員1名（危機管理課）、
議員3名（道端孝治議員・柳田昌孝議員・田畑日佐恵議員）

【第2グループ】

参加者4名、職員1名（福祉政策課）、
議員2名（山口裕司議員・大西淳文議員）

【第3グループ】

参加者4名、職員2名（危機管理課、福祉政策課 各1名）、
議員2名（松石聖一議員・岡本誠至議員）

【第4グループ】

参加者4名、職員1名（地域づくり推進課）、
議員2名（岡田浩徳議員・伊藤 剛議員）

【第5グループ】

参加者5名、職員1名（地域づくり推進課）、
議員2名（下村千恵議員、佐野和則議員）

【第6グループ】

参加者4名、職員1名（地域づくり推進課）、
議員2名（塚本 勝議員・榊井隆志議員）

Ⅲ 第2部 発表の内容

第2部では、第1部で検討した内容について、各グループから発表者を選出し、発表を行っていただきました。

各グループの発表の概要は以下のとおりです。

テーマ1 地域防災～助け合い・支え合い～

第1グループ（小テーマ：女性の視点）

- 女性が何を求めているかについて、市民からの意見を吸い上げる方法を考える必要がある。
自主防災・防犯組織などの組織に入っている人の意見は組織を通じて集約されるが、組織に属さない人に対してのアプローチの仕方を考えるべきである。
例えば、9月の防災月間に市民だよりやホームページなどで必要な物資について意見を募集し、年齢別・性別・地域ごとに分析したデータを各自主防災・防犯組織へ提供する。それを参考に自主防災・防犯組織が各々足りない物資を補充するなどである。
- 小・中学校で防災教育をすることで、未来を担う子供たちに防災について考えてもらうのはどうか。

第2グループ（小テーマ：要配慮者への支援）

- 火災予防のために消火器設置の助成を行う。
- 現状では、地域において隣近所に要支援者がいるか把握できておらず、避難行動要支援者名簿に基づいた支援プランの作成が進んでいない。
ふだんから近所の人と挨拶するなど、お互い分かり合える関係をつくっておくことが大切である。
- 近所付き合いを密にし、いろんな協力関係ができてくることで、防災の面で担い手不足の対策になる。

第3グループ（小テーマ：自分ゴト・他人ゴトの支え合い）

- まずは自助、何につけても自分の命を守っていく。
- 防災士の資格を取得することで、個々に防災に対する気持ちを高めていく。
- 自助について考えることは、ひいては共助につながるのので、まずは自分のことから守っていくことが大切である。

テーマ2 つながれワッショイ！地域コミュニティは必要？

第4グループ

- 地域に対する人の関わり方には人によって差があり、それをまず認めるところから始めなければならない。
- みんなが共通して持てる何かを見つけて、当事者意識のようなものに変わっていくのがコミュニティなのではないか。

第5グループ

- お祭りスタッフをいかに増やすかということについて、継続して場をつくり続けることが重要で、そのためには、地域において誰でも参加しやすい雰囲気づくりが必要である。
- 市の職員が地域の人たちと協力してフィールドワークを企画し、実際に歩きながら地域の歴史を若い人たちに伝達し、歴史を知ってもらうことで地域愛が育まれるのではないか。
- 小・中学校で教育委員会を通じて地域のお手伝いを募集したり、市から大学を通して回覧板をゼミごとに回してもらったりすることで、若い学生とのマッチングが生まれる。
- 常に自分自身がオープンであり続けることが大事である。まず自分が変わって、自発的に地域を知ろうとすれば、住民との関わりの中で、地域において自分も求められている存在だと自覚することができる。また、新しいことに挑戦するなどの意気込みが重要である。

第6グループ

- 助け合い、見守り、共助の観点から、地域コミュニティは必要である。掃除や祭りなどの地域活動があることで犯罪の抑止力になる。また、お祭りの費用を集めるには自治会費という形がよいと考えられることから、自治会が必要なのではないか。
- 大学生が地域の掃除活動や小さなイベントに参加することで、疎外感が取り除かれ、その地域に所属しているという意識を持つことができるようになると思う。そのために、地域の活動に参加する大学生をサポートするような制度を市に提言したい。



グループワークの様子（第2委員会室）

IV アンケートの集約

参加者の方対象にアンケートを実施したところ、16名から回答がありました。

【自由回答】 ※一部抜粋しています

○今回の議会報告会の改善すべきところがあればお聞かせください。

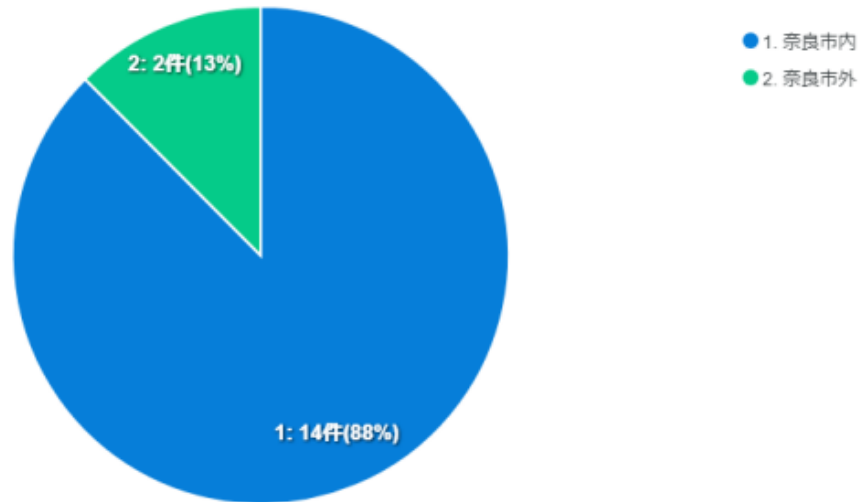
- ・ 報告会運営という意味では、とてもよかったのではないかと感じた。
- ・ 初めての参加であったが、私は有意義であったと思う。市議の方に上手にリードいただき、討議がうまく進化したと思うので、改善点はない。
- ・ もう少し議論の時間があればよりありがたい。また、市の職員ももっと参画してもよいのではないか。
- ・ かいつままで議会の報告を聞きたい。議会報告会という限り、「議会だよりで報告している」で済ますべきではない。
- ・ 全体的に、議員からテーマごとの直近の市政報告をしていただいて、それから市民の話にすれば「報告会」の体裁になるのではないか。議員や市の取組も全体的に聞いてみたかった。
- ・ もう少し各議員の活動が見えるとよい。選挙前だけでなく、定期的に奈良市としても活動を広報してもらい、それを市民がもっとアクセスしやすい仕組みをつくっていただけたら嬉しい。
- ・ もっと議員と話したい。議員には胸元に大きな名札をつけてほしい。参加者に配られるレジュメに、トークしてほしいテーマやまとめるべき項目を印刷したメモ用紙があればよかった。できれば、事前連絡のときにこのメモ用紙を添付してあらかじめ意見を精査できるとありがたかった。

○議会報告会や議会について、御意見をお聞かせください。

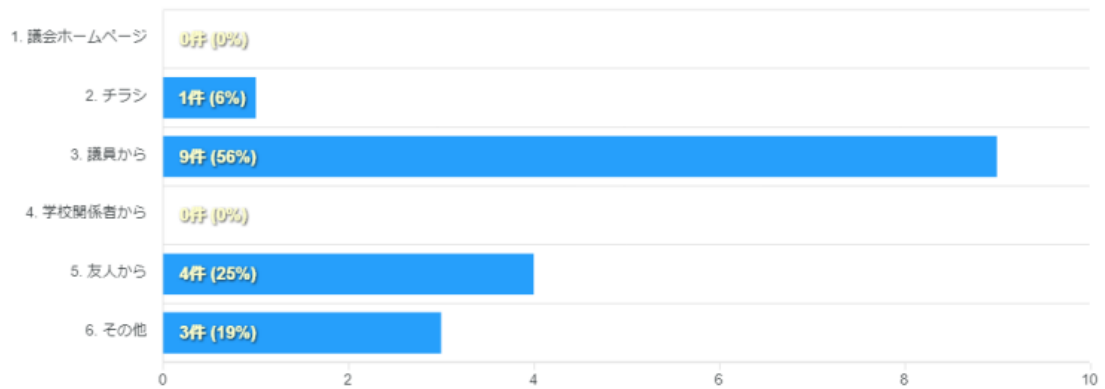
- ・とても充実した議会報告であった。
- ・すばらしい機会となった。
- ・継続して開催してほしい。
- ・また参加したい。
- ・よい機会をつくっていると思う。
- ・いろいろな課題で市民参加型のミーティングを開催してほしい。
- ・市の職員と地域の主体がもっとリアルで話し合える場をつくる必要だと感じている。議員には、行政と地域主体の現場同士の仲介をお願いしたい。
- ・議員の担当を5月の学生さん向けと今回とで分けたようだが、市民の生の声を聴くのはとても重要なので、可能であれば全員参加が望ましい。
- ・土日祝の開催もお願いしたい。県外に勤める人が参加できない時間帯なので、年に2回開催するなら、一回はその方たちに配慮した日時での開催にしてほしい。議会で議論されていることを、素人にも分かりやすく解説する時間が欲しい。議会報告会というからには、市政、市議会らで今何が行われているのかの報告も受けたい。年度を超えてもいいので、市や担当課への提言に関する進捗、回答を披露する時間（少なくとも文書や動画などのコンテンツ）をつくってほしい。

【選択肢回答】

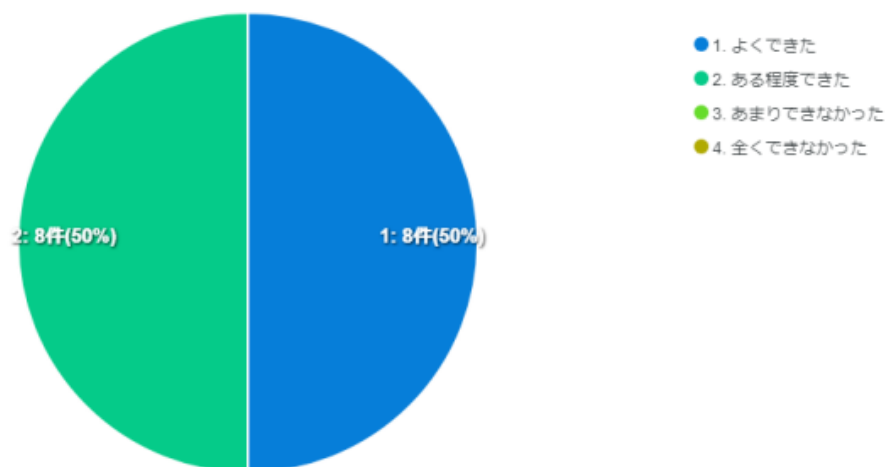
○お住まいについてお答えください。



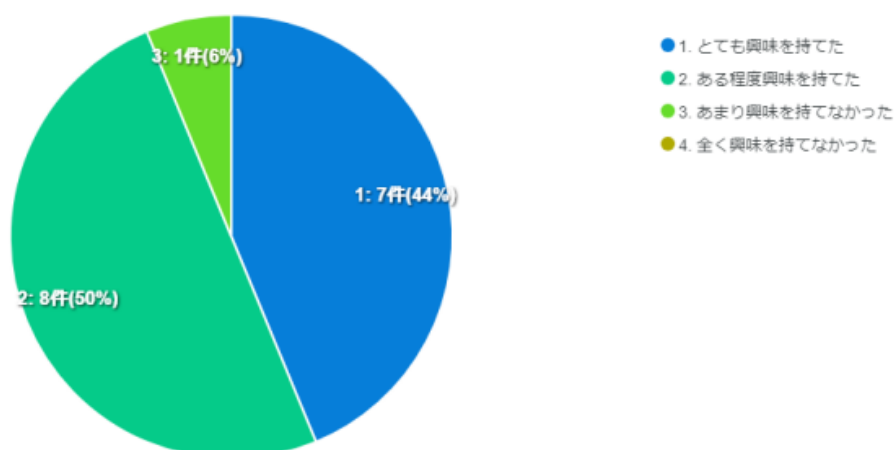
○議会報告会の開催について、どこで知りましたか。(複数回答可)



○グループワークについて、充実した議論ができましたか。



○議会報告会に参加して、以前より奈良市政に興味を持てましたか。



○議会報告会の開催曜日・時間について、いかがでしたか。

